

<p>○ 平成二十四年度の行政監査の結果の公表</p> <p>【監査公表】</p>	<p>目次</p>	<p>岡山県公報</p>
<p>監査事務局</p>	<p>担当課（室）</p>	<p>発行 岡山県</p>
		<p>目次</p>
		<p>担当課（室）</p>

◎岡山県監査公表第三号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百九十九条第二項の規定により、平成二十四年度の行政監査を実施したので、その結果を次のとおり公表する。

平成二十五年三月二十二日

岡山県監査委員	高橋 戒隆
岡山県監査委員	波多 洋治
岡山県監査委員	與田 統充
岡山県監査委員	佐藤 由美子

平成25年3月22日 岡山県公報 号外

平成24年度行政監査結果

〔 平成25年3月22日  
岡山県監査公表第3号 〕

岡山県監査委員

目 次

第1	監査の概要	1
1	監査のテーマ	1
2	監査の趣旨及び目的	1
3	監査の着眼点	1
	(1) ホームページの管理・運営体制について	1
	(2) ホームページの内容について	1
4	監査対象機関	1
5	監査の実施期間	1
6	監査の実施方法	1
第2	監査対象事務の概要	1
1	県ホームページの概要	1
2	県ホームページの設置及び利用状況	2
	(1) 設置の状況	2
	(2) 過去3年間の県トップページへのアクセス数	3
3	県ホームページの管理・運営等	3
第3	監査の結果	3
1	書面調査の結果について	3
	(1) ホームページの管理・運営体制	3
	(2) ホームページの掲載内容等	6
	(3) その他	9
2	閲覧調査による検証結果について	11
	(1) 閲覧調査に当たっての着眼点等	11
	(2) 閲覧結果	12
3	その他ホームページを活用した取組事例について	14
	(1) 県政情報発信のためのフェイスブックの運用開始	14
	(2) ブログを活用した情報発信	14
	(3) おかやま県民提案制度（パブリック・コメント）	14
	(4) 報道発表資料の掲載	15
	(5) おかやま届出・申請総合ナビ	15
第4	監査の意見	15
1	県ホームページの適正な管理・運営について	15
	(1) 情報掲載に当たっての手續	15
	(2) ホームページの作成及び管理・運営に関する規程等の充実	16
2	県ホームページの充実等について	16
	(1) 県ホームページの点検	16
	(2) アクセシビリティへの配慮	16
	[参考資料]	
	用語解説	17

# 平成25年3月22日 岡山県公報 号外

## 第1 監査の概要

### 1 監査のテーマ

ホームページの管理・運営について

### 2 監査の趣旨及び目的

情報化が急速に進展した今日、県ホームページは県民にとって有益な情報源であるとともに、県にとっても有効な広報や情報提供等の手段として活用されている。

このため、県ホームページが適切に管理・運営され、利用しやすく必要な情報が提供されているか等について検証し、県民への情報発信の充実に資することを目的とする。

### 3 監査の着眼点

#### (1) ホームページの管理・運営体制について

① 要領に基づいた管理・運営が適切に行われているか

#### (2) ホームページの内容について

① 県民に必要な情報が適切に掲載されているか

② 県民に分かりやすく見やすい内容となっているか

③ 更新は適切に行われているか（古いデータ、リンク切れ（※1）はないか）

### 4 監査対象機関

ホームページを作成している全ての機関（知事部局、諸局、教育委員会、警察本部及び企業局）

### 5 監査の実施期間

平成24年9月から平成25年3月まで

### 6 監査の実施方法

各機関から監査調書の提出を求める書面調査（調査基準日：平成24年10月1日）を実施するとともに、事務局職員によるホームページの閲覧調査を抽出で行った。また、必要に応じ関係職員へのヒアリングを行った。

これらの調査の結果を踏まえ、書面による委員監査を実施した。

- ・ 書面調査を行った機関 303機関（注）
- ・ 閲覧調査を行った機関 62機関（約2割を抽出）

（注）県ホームページのトップページの「組織で探す」に掲載されている機関を1機関とした。県立学校については、教育委員会トップページの「県立学校」に掲載されている各学校を1機関とした。

## 第2 監査対象事務の概要

### 1 県ホームページの概要

県ホームページは、公聴広報課が運営管理を行っているトップページと本庁各課室、出先機関等の所属長が運営管理を行っている個々のホームページ（以下「各課室ページ」という。）があり、各課室ページの情報は、トップページから分野別、組織別に検索することが可能となっている。

トップページについては、左・中央・右の3構成となっており、中央に、上から

# 平成25年3月22日 岡山県公報 号外

緊急情報，注目情報及び新着情報を配置し，左右に県民の安全に欠かせない防災・災害情報，岡山県の県政の基本目標である第3次おかやま夢づくりプラン，イベントカレンダー，観光情報，産業立地ガイドなどの情報を分かりやすく配置している。

現在，中央最上段には，美作国建国1300年のバナー（※2）と岡山後楽園等県内の四季折々の5種類の写真を順次掲載することにより岡山の魅力をPRしている。

また，緊急情報はインフルエンザ警報発令など，緊急に告知すべき情報を掲載し，注目情報と新着情報には各課室ページの最新情報が掲載される仕組みとなっている。

ホームページの情報提供は，岡山県ウェブサーバ（<http://www.pref.okayama.jp>）（以下「県ウェブサーバ」という。）を通じて行われているが，県立学校は独自のウェブサーバ（※3）を使用している。

ホームページの作成・登録は，原則として岡山県ホームページ管理システム（以下「県CMS」という。）により，また県立学校については，「県立学校Web更新システム（簡易CMS）」等により職員が行っているが，一部の出先機関や特定のテーマで開設しているホームページ（第3次おかやま夢づくりプラン，おかやまの文化財などのページ）は，主に外注により行われている。

本報告書では，これらを併せて県ホームページとしている。

## 2 県ホームページの設置及び利用状況

### (1) 設置の状況

時 期	内 容 等
平成8年10月	県庁（本庁）一課室一ホームページ開設
平成12年4月	携帯電話サイト運用開始
平成17年2月	ホームページ閲覧支援ソフト（文字サイズ及び文字色の変更，読み上げ機能等）導入
平成19年5月	岡山県ホームページ管理システム運用開始 【導入のメリット】 <ul style="list-style-type: none"><li>・各課のホームページのデザインを統一することにより，見やすいページを作ることができる。</li><li>・専門的知識がない職員でも簡単に操作できる。</li></ul>
平成20年8月	県立学校Web更新システム導入
平成23年12月	岡山県ホームページ管理システムの変更 【主な変更内容】 <ul style="list-style-type: none"><li>・イベントカレンダー機能の追加（県トップページ）</li><li>・携帯電話用ページの作成機能の追加</li></ul>

# 平成25年3月22日 岡山県公報 号外

## (2) 過去3年間の県トップページへのアクセス数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
アクセス数	2,964,391件	2,988,637件	3,024,966件

### 3 県ホームページの管理・運営等

県ホームページの管理・運営は、「岡山県ホームページ作成・管理運用要領（以下「要領」という。）」により定められている。なお、要領の対象となるのは、県ウェブサーバ上で公開するホームページであり、今回監査の対象とした303機関が運営するホームページのうち、県立学校71機関（高等学校等58校及び特別支援学校13校）の運営するホームページは、要領の対象とはならない。

要領では、情報政策課長がシステム管理責任者として、システムの運営管理に関する県全体の総合調整を行うこと、公聴広報課長がホームページ運用管理責任者として、県ホームページのトップページ及びトップページに関連する全庁的なページの運営管理の総合調整を行うこと、本庁の各課室長、県民局の各部長及び地域事務所の各課室長並びに各出先機関の長が情報管理責任者として、所管するホームページの運営管理に関する業務を行うこととされている。

また、月初めをHP点検の日と定め、各課室で公開しているホームページについて、古いデータが残っていないか、リンク切れがないか等の自主点検を行うこととされている。

#### 【参考】管理・運営に関する諸規程等

諸規程等の名称	制定（策定）	最終改正
岡山県ウェブコンテンツ作成指針	平成17年5月	平成23年4月
岡山県ホームページ作成・管理運用要領	平成19年5月	平成22年4月
岡山県ホームページCMS操作マニュアル	平成19年5月	平成23年12月
アクセシビリティに配慮したホームページ作成手引	平成21年3月	平成23年12月

### 第3 監査の結果

#### 1 書面調査の結果について

平成24年10月に、全ての機関（303機関）を対象として監査調書を徴取することにより書面調査を行った。

##### (1) ホームページの管理・運営体制

###### ① ホームページへの情報の掲載及び更新について

ホームページへの情報の掲載及び更新に当たって、全て決裁（承認）をとっていると回答したものが254機関（83.8%）、決裁（承認）を全くとっていないとした機関はなかったが、決裁（承認）をとっていないものがあると回答したものは49機関（16.2%）であった。なお、このうち3機関については

事前又は事後に承認をとっていた。

情報掲載に当たって決裁（承認）をとっていない理由については、軽微なものであるから（15機関）、定例的なものであるから（14機関）、情報自体は既に決裁を受けたものであるから（8機関）と回答した機関が多かった。

また、早期に更新する必要があるからと回答したものが14機関あったが、これらは全て県立学校で、内容はブログ（※4）の更新に係るものであった。

表1 情報の掲載及び更新に際しての決裁（承認）の有無 （単位：機関）

区 分	回答数	割合
1 全て決裁（承認）をとっている。	254	83.8%
2 決裁（承認）をとっていないものがある。	49	16.2%
3 決裁（承認）を全くとっていない。	0	0.0%
合 計	303	100.0%

情報の掲載及び更新を行う者については、特に担当は決めず、情報掲載が必要な職員が行うと回答したものが最も多く93機関（30.7%）で、次いで各課室内で定められた職員が行うが89機関（29.4%）、セキュリティ担当者が行うが74機関（24.4%）の順となった。

表2 情報の掲載及び更新を行う者 （単位：機関）

区 分	回答数	割合
1 セキュリティ担当者が行う。	74	24.4%
2 各課室内で定められた職員が行う。（1を除く。）	89	29.4%
3 特に担当は決めず、情報掲載が必要な職員が行う。	93	30.7%
4 その他	47	15.5%
合 計	303	100.0%

## ② ホームページのチェック（点検）

対象機関（303機関）の全てが、不要となった情報の有無、情報更新の必要性やリンク切れがないか等を定期的にチェック（点検）していると回答した。

表3 不要となった情報の有無、情報更新の必要性やリンク切れがないか等のチェック（点検） （単位：機関）

区 分	回答数	割合
1 チェックしている。	303	100.0%
2 チェックしていない。	0	0.0%
合 計	303	100.0%



# 平成25年3月22日 岡山県公報 号外

ホームページのチェック（点検）を行う者については、セキュリティ担当者が行うと回答したものが最も多く102機関（33.7%）で、次いで特に担当は決めず、情報を掲載した職員が行うが86機関（28.4%）、各課室内で定められた職員が行うが85機関（28.0%）の順となった。

表4 ホームページのチェック（点検）を行う者

（単位：機関）

区 分	回答数	割合
1 セキュリティ担当者が行う。	102	33.7%
2 各課室内で定められた職員が行う。（1を除く。）	85	28.0%
3 特に担当は決めず、情報を掲載した職員が行う。	86	28.4%
4 その他	30	9.9%
合 計	303	100.0%

チェックを行う頻度については、毎月、要領に定められたHP点検の日に行っていると回答したものが61機関（20.1%）であった。また、月初めではないが、要領に準拠して毎月1回点検を行っているとしたものが最も多く176機関（58.1%）であった。

表5 チェック（点検）を行う頻度

（単位：機関）

区 分	回答数	割合
1 月1回（HP点検の日に行っている。）	61	20.1%
2 月1回（1を除く。）	176	58.1%
3 その他	66	21.8%
合 計	303	100.0%

その他と回答した66機関（21.8%）の内訳は、下表のとおりである。要領に定められた以上の頻度でチェック（点検）を行っている機関が32機関（10.6%）あった一方、2，3箇月に1回、年数回など、要領に定められた基準に達していない機関が34機関（11.2%）であった。

【参考】その他の内訳（チェック（点検）を行う頻度）

（単位：機関）

区 分	回答数	小計	割合	摘 要
毎日	3	32	10.6%	要領に定められた以上の頻度でチェック（点検）を行っている機関
週に2，3回	7			
毎週	10			
月に数回	12			
2，3箇月に1回	27			要領に定められた頻度に達

年数回	7	34	11.2%	していない機関
合計	66			

(注) 割合は、全ての機関（303）に対するもの

③ ホームページ作成等に関する研修会への参加

平成23年4月から平成24年9月までの間に、情報政策課が開催した研修会に参加していると回答したものが138機関（59.5%）、参加していないと回答したものが94機関（40.5%）であった。

なお、研修会への参加者は、平成23年度が132人、平成24年度は139人であった。

表6 情報政策課が主催する研修会への参加の有無（平成23年度以降）  
（単位：機関）

区 分	回答数	割合
1 参加している。	138	59.5%
2 参加していない。	94	40.5%
合計	232	100.0%

(注) 県立学校（71機関）は、情報政策課主催の研修の対象としていないので除外している。

【参考】参加者の内訳  
（単位：人）

年度	人数	内 訳
平成23年度	132	知事部局，諸局 104人，教育庁 6人，警察本部 19人，企業局 3人
平成24年度	139	知事部局，諸局 105人，教育庁 4人，警察本部 27人，企業局 3人

(注) 平成24年度は、9月末までの人数

(2) ホームページの掲載内容等

① 県ホームページへの掲載情報の内訳

表7の1から13までの各項目のうち、掲載されている割合が最も多かったのは、「9 関連リンク（関係機関，法令等へのリンク）」253機関（83.5%）で、次いで「12 各課室等の主な仕事」が226機関（74.6%），「7 その他の情報（統計・調査，施設案内等）」が219機関（72.3%），「1 お知らせ（報道発表資料等）」が216機関（71.3%）の順となった。

「4 申請・届出業務等（融資及び納税を含む。）」と回答した152機関のうち、県民等が県に申請・届出等を行う際に必要な様式をダウンロードできると回答したものが127機関で、ダウンロードできる様式の件数は1,236件であ

# 平成25年3月22日 岡山県公報 号外

った。また、県民等がホームページを利用して申請・届出等ができる」と回答したものが37機関で、電子申請できるとした項目は87件であった。

表7 県ホームページへの掲載情報の内訳

(単位：機関)

区 分	回答数	割合
1 お知らせ（報道発表資料等）	216	71.3%
2 制度・計画・プラン	190	62.7%
3 トピックス（主な施策等）	161	53.1%
4 申請・届出業務等（融資及び納税を含む。）	152	50.2%
5 イベント情報	177	58.4%
6 相談業務	84	27.7%
7 その他の情報（統計・調査、施設案内等）	219	72.3%
8 関連情報（施策に関連する情報）	134	44.2%
9 関連リンク（関係機関、法令等へのリンク）	253	83.5%
10 県民等に向けて作成した資料・刊行物	192	63.4%
11 動画の情報	43	14.2%
12 各課室等の主な仕事	226	74.6%
13 お問い合わせ（入力フォーム（※5））	213	70.3%

## ② 県ホームページに対する県民からの意見・要望

ホームページ上で県民からの意見・要望が直接送信できると回答したものが213機関（70.3%）、送信できないと回答したものが90機関（29.7%）であった。

表8 県民からの意見・要望

(単位：機関)

区 分	回答数	割合
1 送信できる。	213	70.3%
2 送信できない。	90	29.7%
合 計	303	100.0%

## ア 県ホームページの管理・運営についての意見・要望（県ホームページを通じて取得したもの）

ホームページ上で県民からの意見・要望が直接送信できると回答した機関のうち、ホームページの管理・運営についての意見・要望を受信した事例があるとしたのは、平成23年度が6機関、平成24年度が7機関であったが、その内容（主なもの）は次のとおりである。

- ・掲載内容の誤り等に関する指摘 5 機関
- ・掲載情報の更新を求めるもの 3 機関
- ・アクセシビリティの向上を求めるもの 2 機関
- ・情報登録者からの登録内容の修正依頼 2 機関

イ 県ホームページの管理・運営についての意見・要望（県ホームページ以外で取得したもの）

県ホームページ以外でホームページの管理・運営についての意見・要望を受け付けたと回答したのは、平成23年度が10機関、平成24年度が4機関であったが、その内容（主なもの）は次のとおりである。

- ・掲載情報の更新を求めるもの 7 機関
- ・掲載内容の誤り等に関する指摘 4 機関
- ・掲載内容が分かりにくいという指摘 2 機関

③ ユーザビリティ（※6）（ホームページの階層）

各課室のトップページを第1層と数えた場合の最大階層を、1層から3層と回答したものが最も多く192機関（63.4%）で、次いで、4層から5層が104機関（34.3%）、6層から10層が7機関（2.3%）の順となった。

なお、11層以上と回答した機関はなく、当県では、97.7%の機関が、利用者がホームページをクリックする回数を減らすため、階層数を5層以下としている。

表9 各課室のトップページを第1層としたホームページの階層  
(単位：機関)

区 分	回答数	割合
1 1層～3層	192	63.4%
2 4層～5層	104	34.3%
3 6層～10層	7	2.3%
4 11層以上	0	0.0%
合 計	303	100.0%

④ アクセシビリティ（※7）（高齢者、障害のある人等への配慮）

県CMS以外のシステムで作成したホームページを運用していると回答した128機関（42.2%）の中で、アクセシビリティに配慮した何らかの対応を行っているとしたのは102機関（33.6%）で、また県CMSで作成したホームページのみを運用していると回答したのは175機関（57.8%）であり、合わせると、文字サイズが変更可能など、高齢者等に配慮した何らかの対応を行っているとした機関は277機関（91.4%）であった。

一方、アクセシビリティに配慮した対応を行っていないと回答したのは、26機関（8.6%）であった。

表10 アクセシビリティへの対応の有無  
(単位：機関)

--	--

区 分		回答数	割合	小 計	割 合
1 県CMS以外のシステムで作成したホームページを運用している。		128	42.2%		
内 訳	アクセシビリティに配慮した対応を行っていない。	26	8.6%	277	91.4%
	アクセシビリティに配慮した何らかの対応を行っている。	102	33.6%		
2 県CMSで作成したホームページのみを運用している。		175	57.8%		
合 計		303	100.0%	303	100.0%

(注) 県CMSは、文字サイズの変更、音声読上などアクセシビリティに対応した仕様となっている。

⑤ 外国人への配慮

外国語によって情報を提供していると回答したのは20機関（6.6%）であった。

提供している言語は、英語が19機関（95.0%）と最も多く、次いで中国語7機関（35.0%）、韓国・朝鮮語6機関（30.0%）の順となった。

表11 外国語による情報の提供の有無

(単位：機関)

区 分	回答数	割合
1 提供している。	20	6.6%
2 提供していない。	283	93.4%
合 計	303	100.0%

【参考】提供している外国語の内訳

(単位：機関)

区 分	回答数	割合
1 英語	19	95.0%
2 中国語	7	35.0%
3 韓国・朝鮮語	6	30.0%
4 フランス語	3	15.0%
5 ポルトガル語	1	5.0%
合 計	36	—

(注) 割合は、提供している機関（20）に対するもの（複数回答あり）

(3) その他

# 平成25年3月22日 岡山県公報 号外

## ① ホームページのコンテンツ（※8）作成の外注

県ホームページは原則として職員が作成・管理・運営することになっているが、デザイン重視や特殊なプログラムを使用する等の理由により、コンテンツの作成を外注したと回答したのは34機関（11.2%）で、外注件数は40件であった。

表12 ホームページのコンテンツ作成の外注の有無

（単位：機関）

区 分	回答数	割合
1 外注した。	34	11.2%
2 外注していない。	269	88.8%
合 計	303	100.0%

外注したと回答した34機関（40件）について、外注費用をみると、50万円以上100万円未満としたものが最も多く11件（27.5%）で、次いで50万円未満及び100万円以上200万円未満が6件（15.0%）、200万円以上300万円未満が5件（12.5%）の順となった。

なお、外注費用の総額は、不明の7件を除き、59,005千円であった。

### 【参考】外注費用の内訳

（単位：件，千円）

区 分	回答数	金 額	割合
50万円未満	6	1,850	15.0%
50万円以上100万円未満	11	8,370	27.5%
100万円以上200万円未満	6	9,270	15.0%
200万円以上300万円未満	5	11,897	12.5%
300万円以上500万円未満	2	7,120	5.0%
500万円以上	3	20,498	7.5%
不 明	7	-	17.5%
合 計	40	59,005	100.0%

（注）機関数：34機関（複数回答あり）

次に、保守費用をみると、なしと回答したものが最も多く22件（55.0%）で、次いで、10万円未満及び30万円以上50万円未満が4件（10.0%）であった。

なお、保守費用の総額は、12,250千円であった。

### 【参考】保守費用の内訳

（単位：件，千円）

区 分	回答数	金 額	割合
な し	22	0	55.0%

10万円未満	4	202	10.0%
10万円以上20万円未満	3	432	7.5%
20万円以上30万円未満	3	799	7.5%
30万円以上50万円未満	4	1,679	10.0%
50万円以上100万円未満	2	1,240	5.0%
100万円以上	2	7,898	5.0%
合 計	40	12,250	100.0%

② ホームページの管理・運営について、特に工夫や配慮をしていることや今後の課題・問題点等

回答のあった75機関のうち、主な内容は次のとおりである。

【特に工夫や配慮をしていること】

・最新情報の提供（17機関）

できる限りタイムリーな情報を提供できるよう早期に更新している。  
常に新しい情報が提供できるよう心がけている。

・ブログの活用（10機関）

学校行事・日常の様子などをブログ形式でホームページに掲載することにより、タイムリーな情報を提供している。

・個人情報の保護（8機関）

写真等を掲載する際、できる限り個人が特定できないようにしている。  
生徒の写真を掲載する際はあらかじめ承諾を得ている。

【今後の課題・問題点等】

・担当者の負担（10機関）

多くの仕事を抱えた中でのホームページ作成管理は、担当者の負担が大きい。

・職員の能力（8機関）

ホームページを管理できる職員が限られている。

2 閲覧調査による検証結果について

平成24年10月下旬から12月下旬までに、対象機関（303機関）のおおむね2割に当たる62機関について、事務局職員による閲覧調査を実施した。

(1) 閲覧調査に当たっての着眼点等

アクセシビリティに配慮したホームページ作成手引等を参考として、次の9項目に着目して閲覧を行った結果、どの項目にも該当しなかった機関が約3割の17機関で、これ以外の約7割の機関がいずれかの項目に該当した。

【閲覧調査に当たっての着眼点】

① 記載内容に誤りはないか（誤字、脱字、組織名等）

- ② 分かりにくい表現はないか（専門用語，英語等）
- ③ 画像に代替テキスト（※9）はあるか
- ④ データの容量が大きくないか
- ⑤ 所属への案内図はあるか（統括部門のみ）
- ⑥ その他（掲載内容に矛盾や不備があるもの）
- ⑦ 古い情報がそのままになっていないか
- ⑧ 工事中（※10）になっていないか
- ⑨ リンクの不具合はないか

表13 着眼点に該当する項目の有無（単位：機関）

区 分	該当機関	割 合
該当項目がない。	17	27.4%
該当項目がある。	45	72.6%
計	62	100.0%

(2) 閲覧結果

閲覧項目別の該当機関数は、下表のとおりである。

表14 着眼点ごとの閲覧結果（単位：機関）

区 分	該当機関	割 合
① 記載内容に誤りはないか（誤字，脱字，組織名等）	5	8.1%
② 分かりにくい表現はないか（専門用語，外国語等）	12	19.4%
③ 画像に代替テキストはあるか	10	16.1%
④ データの容量が大きくないか	20	32.3%
⑤ 所属への案内図はあるか（統括部門のみ）	0	0.0%
⑥ その他（掲載内容に矛盾や不備があるもの）	4	6.5%
⑦ 古い情報がそのままになっていないか	12	19.4%
⑧ 工事中になっていないか	0	0.0%
⑨ リンクの不具合はないか	25	40.3%
合 計	88	—

（注）割合は、閲覧を行った機関（62）に対するもの（複数の項目に該当する機関あり）

閲覧調査に当たっての着眼点のうち、⑤及び⑧に該当する機関はなかった。これ以外の着眼点に該当する主なものは、次のとおりである。

- ① 記載内容に誤りはないか（誤字，脱字，組織名等）



問い合わせ先の一部に記載漏れがあるものが2機関（3件）、申請様式の記載例が誤っているものが1機関（1件）、岡山市内の事務所で住所に区が表示が漏れているものが1機関（1件）等、合計5機関（8.1%）、6件あった。

② 分かりにくい表現はないか（専門用語、英語等）

科目別シラバス（※11）などの専門的な用語について説明を付されていないものが7機関（8件）、月日の表示のみで年の表示のないものが3機関（3件）、リンク先が利用者が求めている情報ではなく、その情報を掲載する市町村のトップページになっているものなど、リンクの張り方が不適切なものが3機関（3件）、掲載された情報の作成時期が明示されていないものが2機関（2件）等、合計12機関（19.4%）、18件あった。

③ 画像に代替テキストはあるか

この項目は、県CMS以外でホームページを作成している県立学校（10機関）を対象とした（県CMSで作成する場合は、画像への代替テキストの設定は必須である。）。

作成画像に代替テキストがないものが1機関、代替テキストはあるが、テキスト名が写真の整理番号や、データを保存する際のタイトル名になっているものが9機関に見られた。

④ データの容量が大きくないか

今回は2メガバイト（以下「MB」という。）以上のデータを対象としたが、それ以上の容量のデータを掲載しているものが20機関（32.3%）、掲載されたデータの件数は24件であった。件数の内訳は下表のとおりである。

2MB以上5MB未満が最も多く9件（37.5%）で、次いで20MB以上が7件（29.1%）の順であった。

表15 掲載情報の容量

（単位：件）

区 分	件 数	割 合
2MB以上5MB未満	9	37.5%
5MB以上10MB未満	4	16.7%
10MB以上20MB未満	4	16.7%
20MB以上	7	29.1%
合 計	24	100.0%

⑤ 所属への案内図はあるか（統括部門のみ）

全ての機関について、所属への案内図があった。

⑥ その他（掲載内容に矛盾や不備があるもの）

QRコード（※12）の欄を作成しているのにQRコードが表示されていないもの、新しい駅ができたのに交通アクセス欄に反映されていないもの、パーポイントを使わなければ開けない情報を掲載しているもの等4機関（6.5%）、

4件あった。

⑦ 古い情報がそのままになっていないか

実施済みのイベント等の情報を掲載していたものが5機関（10件）、名簿や組織の概要等が更新されていないものが1機関（2件）、イベント等の情報、審議会の開催実績が更新されていなかったもの、開催済みの会議等の案内、提出期限を過ぎた受講案内、募集期間が過ぎた提案募集を掲載していたものがそれぞれ1機関（1件）等、合計12機関（19.4%）、21件あった。

⑧ 工事中になっていないか

ホームページが工事中になっている機関はなかった。

⑨ リンクの不具合はないか

リンクが切れているものが25機関（50件）と最も多く、閲覧機関の40.3%を占めた。

### 3 その他ホームページを活用した取組事例について

ホームページを活用して各種の取組が行われているが、その概要は次のとおりである。

#### (1) 県政情報発信のためのフェイスブック（※13）の運用開始

県は、スマートフォンの普及等を背景に利用が飛躍的に拡大しているソーシャルメディア（※14）を県政情報の発信に活用するため、平成24年8月17日、晴れの国おかやまかわら版（公聴広報課）、就職支援（労働政策課緊急雇用対策室）、おかやま6次化ふえ（農林水産総合センター）など6つの課室等でフェイスブックの運用を開始し、平成25年2月末現在の運用課室等は17となっている。

フェイスブックは、利用者の反応や意見を即時に知ることができる、情報が人から人へと広く拡散していくなど多くのメリットがあることから、県では、この特性を生かせる分野への積極的な活用を推進するとともに、ソーシャルメディアを運用するに当たっての基本原則やトラブルへの対応等を定めたソーシャルメディア運用ガイドラインを策定し、適正な運用に努めている。

#### (2) ブログを活用した情報発信

県立学校の平成24年12月のブログによる情報発信状況について調査したところ、全体の70.4%に当たる50機関がブログを活用し、きめ細やかな情報発信を行っていた。

平成24年12月の1箇月間のブログの更新状況をみると、1回から5回の更新が21機関（42.0%）で最も多く、次いで6回から10回の15機関（30.0%）、11回から15回の8機関（16.0%）の順であった。

#### (3) おかやま県民提案制度（パブリック・コメント）

パブリック・コメントは、県が基本的な政策等を決定する過程において、その政策の趣旨及び内容を県民に公表し、県民からいただいた意見や情報を考慮して、当該立案に係る意思決定を行う制度であるが、県では、県政運営における公正の確保と透明性の向上を図ることを目的に、平成14年度からこの制度を導入し、ホームページ等から意見等の募集を行っている。

# 平成25年3月22日 岡山県公報 号外

パブリック・コメントの実施状況は、次のとおりであった。なお、平成24年度は、募集期間が12月末までの件数である。

- ・平成23年度 32件 提出された意見 915件
- ・平成24年度 15件 提出された意見 422件

## (4) 報道発表資料の掲載

報道発表資料は、県民が必要とする重要な情報であり、公聴広報課長通知（平成22年10月20日）により、報道発表資料は県ホームページへ掲載することとなっている。

公表された報道発表の件数は、次のとおりであった。なお、平成24年度は、12月末までの件数である。

- ・平成23年度 2,079件
- ・平成24年度 1,490件

## (5) おかやま届出・申請総合ナビ

県では、平成14年3月、岡山県電子自治体推進協議会を設立し、管内78市町村（現在は27市町村）と共同で住民サービスの向上と行政事務の高度化のため、電子自治体の円滑かつ効率的な構築を図るとともに、県内全域で情報化の推進に取り組んできた。

平成20年11月には現在のおかやま届出・申請総合ナビの運用を開始し（管内市町村と共同で運営）、県民や業者からの電子申請を受け付けている。

県関係では、平成24年度においては12月末までに126項目の行政手続（期間限定の手続を含む。）について電子申請が可能となっている。

申請件数は、次のとおりであった。なお、平成24年度は、12月末までの件数である。

- ・平成23年度 6,227件
- ・平成24年度 5,194件

## 第4 監査の意見

インターネットが県民等に欠かせない高度情報化社会を迎えた今日、県ホームページは、県民等にとって有益な情報源であるとともに、県にとっても情報の提供及び収集の手段として欠かせないものとなっている。

県ホームページの管理・運営の実態を把握するため監査を実施した結果、全体としてはおおむね適正な管理・運営が行われているものと認められたが、今後も県ホームページが県民等と行政との情報共有の場として有効に機能するため、次の事項について留意改善されたい。

### 1 県ホームページの適正な管理・運営について

#### (1) 情報掲載に当たっての手続

ホームページの情報の掲載及び更新に当たって、一部の情報について決裁（承認）をとっていないと回答したものが49機関（16.2%）あった。

その理由は、軽微なもの（15機関）、定例的なもの（14機関）、早期に更新する必要があるもの（14機関）等であったが、県が発信する情報の影響の大きさ

を踏まえ、要領で各課室ページの運営管理に関する業務を行うとされている所属長が責任を持ち、適切な対応を行う必要がある。

## (2) ホームページの作成及び管理・運営に関する規程等の充実

県立学校については、平成10年10月に制定された「県立学校における岡山県教育情報ハイウェイネットワークホームページ公開ガイドライン」に基づき管理・運営が行われている。

このガイドラインには、ホームページに掲載された情報について、速やかに更新する必要性や、閲覧者の立場に立った分かりやすい表現を行うこと等について定められているが、今後一層、適正な管理・運営に資するため、岡山県ホームページ作成・管理運用要領等を参考として、点検の頻度、アクセシビリティ等についての具体的な基準を整備することが望ましい。

## 2 県ホームページの充実等について

### (1) 県ホームページの点検

要領によると、毎月、月初めのHP点検の日に、各課室ページについて、古いデータが残っていないか等の自主点検を行うこととされており、書面調査では、全機関の約9割の269機関（88.8%）が月1回以上ホームページのチェック（点検）を行っているとは回答した。

一方、閲覧調査を行った62機関のうち、約4割に当たる25機関（40.3%）にリンク切れがあったほか、実施済みのイベント等古い情報が放置されているものも見受けられたが、これは利用者の信頼を損ねるものであり、要領を遵守し、月1回以上の点検を行うことはもとより、ホームページをより一層、注意を払って点検する必要がある。

### (2) アクセシビリティへの配慮

書面調査によると、県CMS以外のシステムで作成したホームページを運用している機関のうち、26機関（8.6%）においてアクセシビリティに配慮した対応がなされていなかった。また、閲覧調査においても、専門的な用語への解説がないもの、月日の表示のみで年の情報が不明なものなど、内容が不十分で分かりにくいものがあったほか、目の不自由な人のために写真に設定される代替テキストにも一部で不備があった。

県ホームページは、高齢者や障害のある人をはじめ全ての利用者が利用しやすく、分かりやすいことが重要であり、岡山県ウェブコンテンツ作成指針等を踏まえ、アクセシビリティに配慮したホームページの作成に努める必要がある。

用語解説

用語		説明
(※1)	リンク切れ	リンクとは、画面に表示された特定の文字やアドレスを選択することで、他のページや文章等へ接続できる仕組みのこと。 リンク切れとは、何らかの理由で接続できない状態のこと。
(※2)	バナー	ホームページ上で他のページを紹介する役割をもつ画像のこと。主に広告・宣伝用に作られる。画像にはリンクを張り、クリックすると紹介するページを表示するようになっている。
(※3)	ウェブサーバ	ホームページで文章、画像、音声等を公開するためのコンピュータのこと。
(※4)	ブログ	ウェブとログ（履歴、日誌）を合成した言葉といわれており、日記や各種情報を記録し、更新しているページのこと。
(※5)	入力フォーム	様々な情報を入力して、相手に入力内容を送信する画面のこと。
(※6)	ユーザビリティ	ソフトウェアやホームページの使いやすさのこと。
(※7)	アクセシビリティ	情報やサービス、ソフトウェアなどが、どの程度広汎な人に利用可能であるかを表す言葉。特に、高齢者や障害のある人などにとって、どの程度利用しやすいかという意味で用いられる。
(※8)	コンテンツ	ホームページで提供される情報の内容（文章、動画、音声等）のこと。
(※9)	代替テキスト	ホームページで、画像等の内容を説明する文章のこと。目の不自由な人が音声読み上げソフトを利用した際に、画像等の代わりに読み上げられる。
(※10)	工事中	ホームページが作成中や改修中のため、利用できない状態になっていること。
(※11)	科目別シラバス	学校等において、学年又は学期中の授業・講義の計画や内容の概略を各時限ごとに記したもの
(※12)	QRコード	小さな正方形の点を縦横同じ数だけ並べた2次元コードのこと。 右は、おかやま全県統合型GISのアドレスのQRコード
(※13)	フェイスブック	フェイスブック社が運営するインターネット上のサービス。利用者が実名登録をし、日記機能やメッセージ機能を利用して双方向のやりとりを行うことができる。
(※14)	ソーシャルメディア	インターネットの技術を利用し、個人が情報を発信することで形成されるさまざまな情報交流サービスの総称のこと。

